

## 数を数えることば

学習日 月 日 ( )

いえの人のしるし ↓



( ) に合うことばを □ か  
えらんで書きましょう。

① 海のそばに家が **一(けん)** ある。② げんかんに くつが **二(足)** ある。③ きょうは、妹の **三(さい)** のたん生日だ。④ 犬の赤ちゃんが **四(ひき)** 生まれた。⑤ おりがみを **五(まい)** あげた。⑥ 体いくでは **六(人)** の班はんを **五つ** 作りま

す。

台	さい	きつ
本	こ	ひき
人	まい	けん
足		

⑦ ちゅう車場に、車が **七(台)** ある。⑧ ケーキを **八(こ)** 買ってきた。⑨ 筆箱ふでばこには **えんぴつ** が **九(本)** ある。⑩ わたしは、本を **十(きつ)** 読んだ。

学校にかんけいのあることは 学習日 月 日( )

☆ ( ) に あてはまる かん字を 書きましよう。

がっ こう

① (学) (校) へ 通う。

せん せい

② (先) (生) に 話す。

こ

③ (子) どもが あそぶ。

いち ねん せい

④ (一) (年) (生)

きょう しつ

⑤ (教) (室) で べん強する。

こく ご

⑥ (国) (語) の しゅくだいを する。

さん すう

⑦ (算) (数) の 計算を する。



おん がく

⑧ (音) (楽) の 時間

きゅう しょく どう ばん

⑨ 給 (食) (当) (番)

ほん

⑩ (本) を 読む。

さく ぶん

⑪ 作 (文) を 書く。

じ

⑫ かん (字) を おぼえる。

たい

⑬ ラジオ (体) そうを する。

せい かつ

⑭ 毎日の (生) (活)



主語とじゅつ語に気をつけよう 学習日 月 日 ( )

いえの人のしるし ↓

① (だれが) 赤ちゃんが (どうする) わらう。

② (何が) (どんなだ) 海が (どんなだ) 青いです。

①や②の文の

「赤ちゃんが」「海が」のように、「だれが」「何が」に当たることばを **主語** といいます。  
「わらう」「青いです」のように、「どうする」「どんなだ」に当たることばを **じゅつ語** といいいます。



わたし

が

だれが、どうしているのかな？ 絵をせつめいする 文をかきましよう。じゅつ語には、 を 引きましよう。

花に、じょうろで、水をやる。



赤ちゃん

が

ねている。



男の子

が

ゴーカートにのっている。ゴーカートにのる。



女の子

が

なわとびをしている。なわとびをする。



からだに かんけいのある ことばを あ  
つめましょう。

目 耳 口

かお はな

あたま かみ

手 足 うで

ひじ ひざ

こし せ中 かた

おしり おなか

など



どんな ようすか 考  
えましょう。どうさを  
しても いいよ。

つぎに、上の もんだいのよ  
うに 「あたま」「うで」「む  
ね」につづく ことばを 考  
えて 書きましょう。

あたまを かく

あたまが いたい など

うでを くむ

うでを のばす など

おねを はる

おねが ときどきする など

いえの人のしるし ↓



「しぜん」にかんけいのあることは 学習日 月 日 ( )



しぜんにかんけいのあることはを あつめました。( )に  
あてはまることはを 下の □ から えらんで 書きましよう。

☆ ここから えらびましよう。

ふく ふる 高い 青い  
まぶしい しばむ さく  
ながれる

① 風が ( ふく ) 。

⑤ ( 高い ) 山

② 雨が ( ふる ) 。

⑥ 谷を ( ながれる ) 川

③ 花が ( さく ) 。

⑦ ( 青い ) 海

④ 花が ( しばむ ) 。

⑧ 晴れた日は ( まぶしい ) 。

③と④は どちらでも せいかい

いえの人のしるし ↓ □

たてものや家具にかんけいのあることば

学習日 月 日( )



たてものに かんけいのある ことばを あつめましょう。

れい

やね

まど

かべ

げんかん

えんとつ

はしら

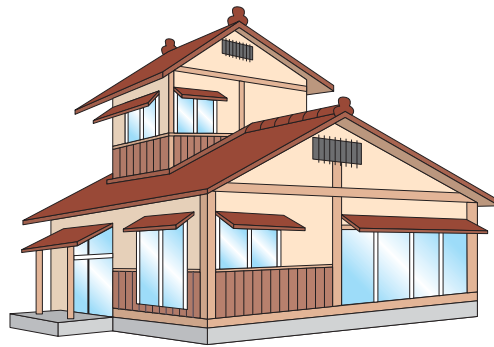
かいだん

えんがわ

テラス

しょうじ

など



家具にかんけいのある ことばを あつめましょう。

れい

テーブル

じゅうたん

ソファ

たんす

カーペット

たたみ

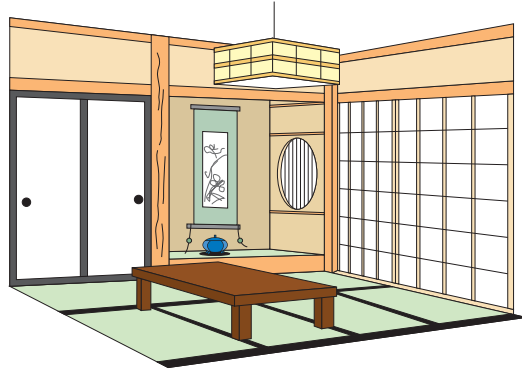
いす

つくえ

しよつきだな

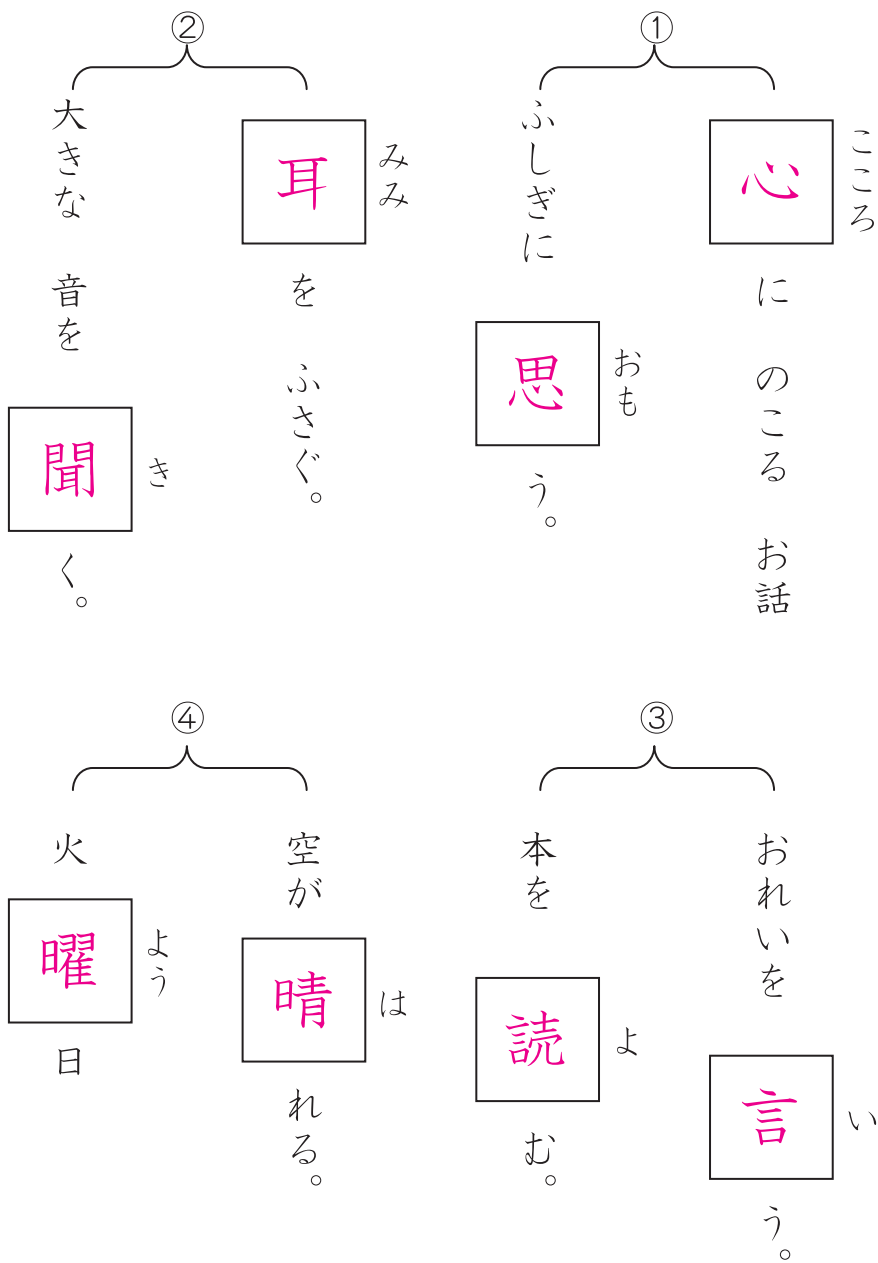
など

いえの人のしるし ↓



おなじところのあるかん字 1 学習日 月 日 ( )

☆ □ の 中 に かん字 を かきましよう。



いって みよう 早口ことば

☆ つぎの 早口ことばを れんしゅう  
しましよう。

ちようちよ ちよつと

とつて ちようだい

一かい れんしゅうしたら、まるを  
ひとつ ぬりましよう。

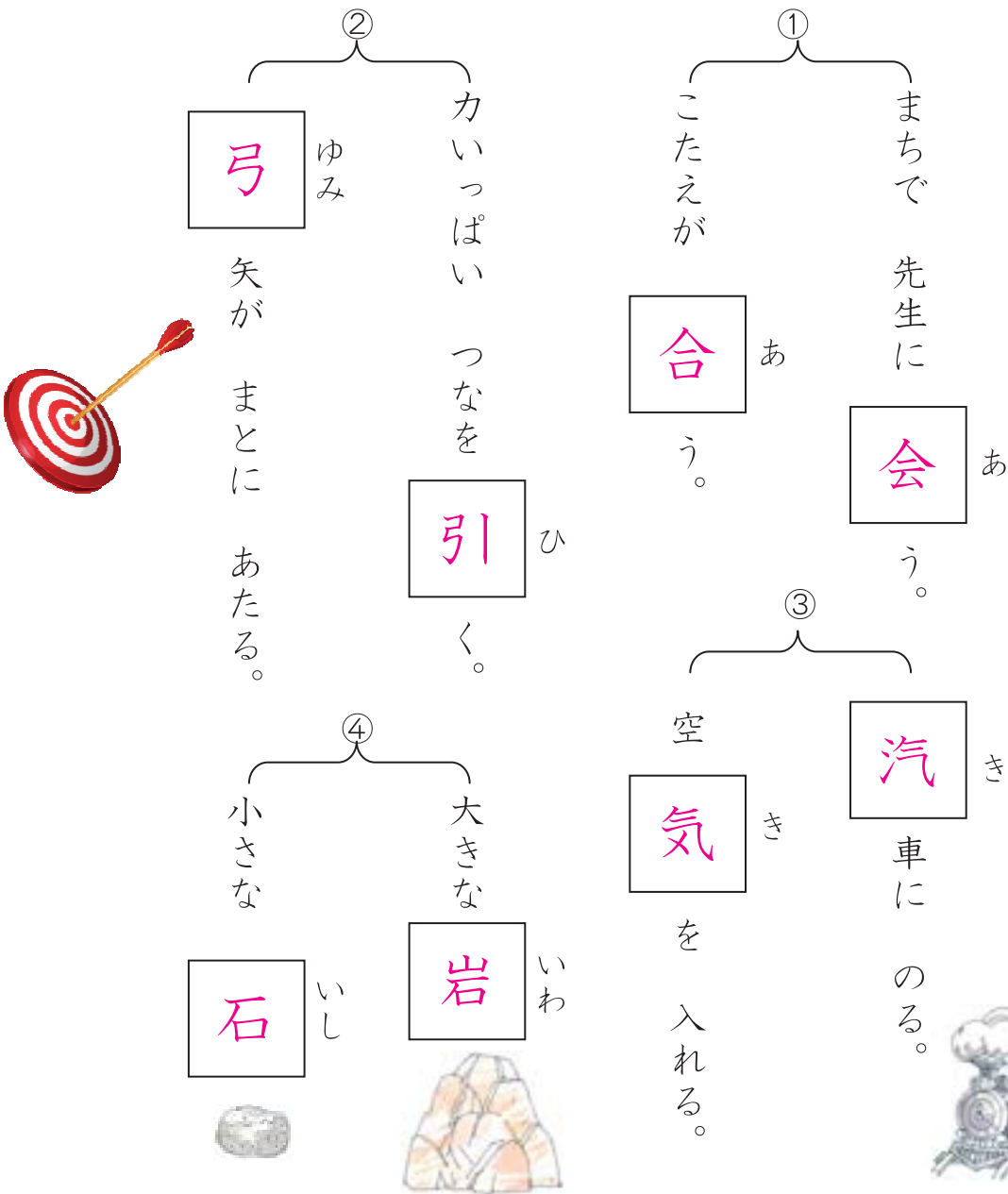
- 
- 
- 
- 
- 

うまく いえる  
ようになつたら、  
いえの人に きい  
てもらいましよう。



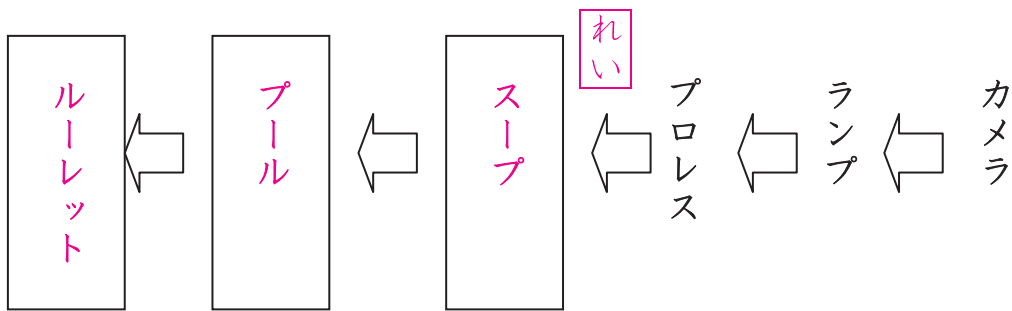
いえの人のしるし ↓ □

☆□の中に かん字をかきました。



カタカナしりとり

☆ カタカナで かく ことばを みつけて しりとりを しましょう。



こまったら、1年の きょうかしの カタカナひょうを いたり、いえの 人に いたり しましょう。

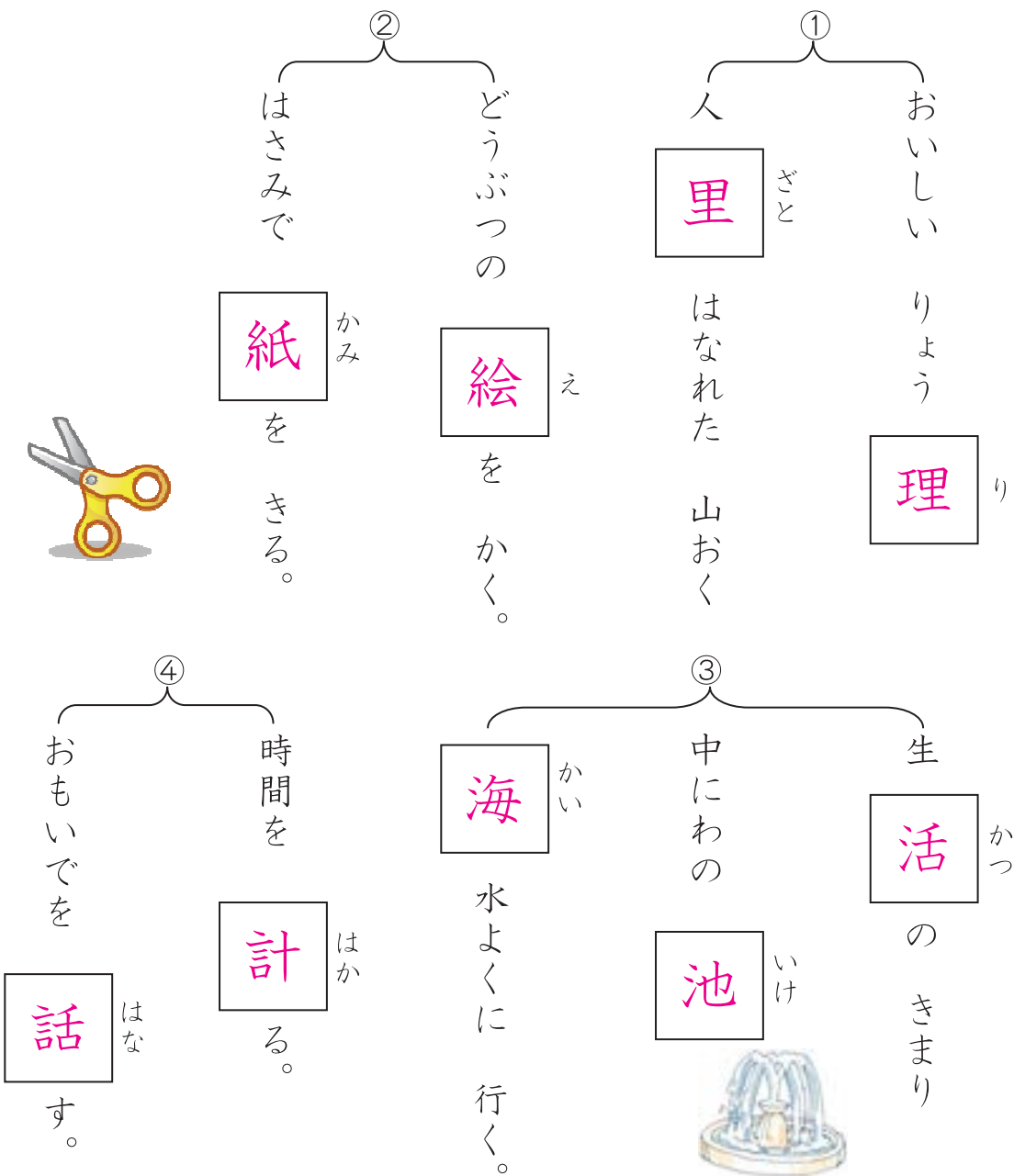


いえの人のしりしり ↓ □



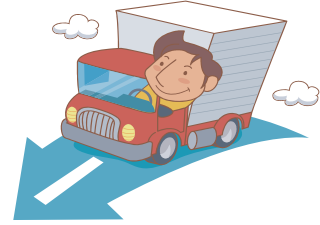
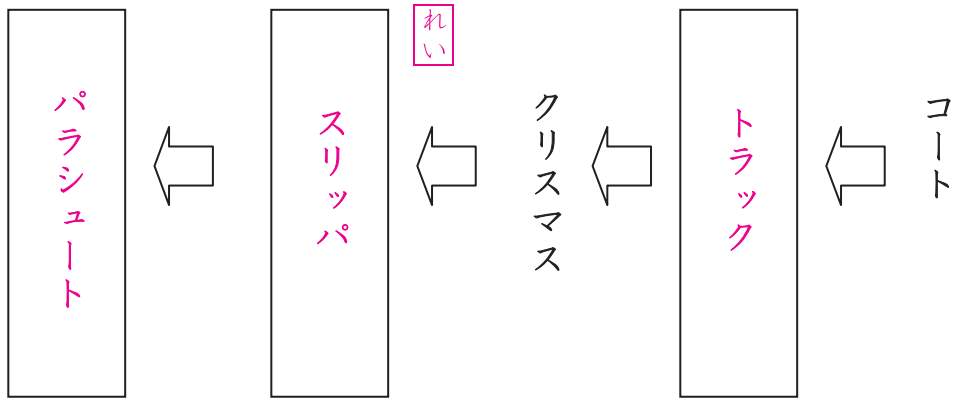
おなじところのあるかん字3 学習日 月 日( )

☆□の中に かん字を かきましよう。



カタカナしりとり

☆カタカナで かく ことばを みつけて しりとりを しましよう。



はじめの□は えを ヒントに かんがえましよう。

いえの人のしるし ↓ □

おくりがな 1

学習日 月 日 ( )

☆おなじ かん字でも、いみに よって 読み方が かわります。  
 ☆おくりがなは、かん字の 読み方や いみを はっきり させます。

☆つぎの かん字の 読み方と 送りがなを 書きましょう。

下

・ジャングルジムから

下りる

(お)

・トラックから

下ろす

(お)

・ていねに

下げる

(さ)

・ふねで

下る

(くだ)



生

・ならった

生活を

生かす

(い)

・百才まで

生きる

(い)

・おとなの

はが

生える

(は)

・うさぎの

赤ちゃんが

生まれる

(う)



い え の 人 の し る し ↓



おくりがな 2

学習日 月 日 ( )

☆おなじ かん字でも、いみによって 読み方が かわります。  
 ☆おくりがなは、かん字の 読み方や いみを はっきり させます。

☆つぎの かん字の 読み方と 送りがなを 書きましょう。



入

・こうちやに さとうを

入れる (い)

少

・今年の 冬は 雪が

少ない (すく)



出

・しょくいんしつに

入る (はい)

広

・雨が ほんの

少し (すこ)

だけ ふった。

・ごはんを 食べると 元気が

出る (で)

・かまぐらの 入口を

広げる (ひろ)

・ランドセルから 教科書を

出す (だ)

・うわさが

広がる (ひろ)

※「広まる」でも せいかい



いえの人のしるし↓



おくりがな 3

学習日 月 日 ( )

☆おなじ かん字でも、いみによって 読み方が かわります。  
 ☆おくりがなは、かん字の 読み方や いみを はっきり させます。

☆つぎの かん字の 読み方と 送りがなを 書きましょう。



回

こまが くるくる

回る (まわ)

。

外

かいらんばんを となりに

回す (まわ)

。

外す (はず)

名ふだを

(はず)

外れる (はず)

天気よほうが

。



足

バス代は 二百円で

足りる (た)

。

明

スープに しおを

足す (た)

。

明るい (あか)

東の 空が

(あ)

明ける (あ)

新しい 年が

。



いえの人のしるし ↓ □

声に出して読もう 学習日 月 日( )

☆ 童謡「ふるさと」は、長野県しゅっしんの 高野辰之  
さんが しを 作り、鳥取県しゅっしんの 岡野貞一  
さんが きよくを 作りました。

☆ 岡野貞一さんは、鳥取市生まれです。七才の とき  
に お父さんが なくなり、くろうしながら そだち  
ました。教会で はたらいていた お姉さんと い  
っしょに 教会に かよううち、賛美歌を かなでる  
オルガンの 音に きょうみを もつようになり  
ました。東京音楽学校の 先生に なってからも、  
日曜れいはいの オルガンを ひきつづけました。

岡野貞一さんが 作った

きよくは、「ふるさと」のほか  
にも たくさん あります。

鳥取市に ある「わらべかん」  
に行くとき、岡野貞一さんの こ  
とが、くわしく わかります。



わらべかん

☆声に出して読みましょう。

ふるさと

うさぎ おいし かの山  
小ぶな つりし かの川  
ゆめは 今も めぐりて  
わすれがたき ふるさと

いかに います 父母

つつがなしや 友がき

雨に風につけても

思い いづる ふるさと

こころざしを はたして

いつの 日にか かえらん

山は あおき ふるさと

水は きよき ふるさと



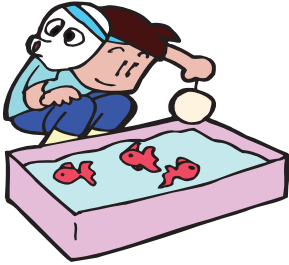
いえの人のしるし↓



☆ トリピーが 日きを 書きました。でも、かん字を ひとつも つかって いないので、読みにくい です。ならった **かん字**を つかって、下の **ます**に 書き直しましょう。



どようびのよる、まちにいつて、きんぎょすくいをしました。いっかいさんびやくえんでした。ちよつとたかいとおもいました。くろいでめきんを、いっぴきもらいました。



た	目	高	回	金	
。	金	い	三	魚	土
	を	と	百	す	曜
	、	思	円	く	日
	一	い	で	い	の
	ぴ	ま	し	を	夜
	き	し	た	し	、
	も	た	。	ま	町
	ら	。	ち	し	に
	い	黒	よ	た	行
	ま	い	っ	。	っ
	し	出	と	一	て

☆ 書き おわったら、声を出して 読んで みましょう。かん字をつかうと 読みやすくなりますね。

かん字をつかって書こう 2 学習日 月 日( )

☆ トリピーが 日きを 書きました。でも、かん字を ひとつも つかって いないので、読みにくい です。 **かたかな**や **なら**った **かん字**を つかって、下の **ます**に **書き直**しましょう。



かぞくみんなでだいせんに  
いって、きやんぷをしました。  
かれえらいすをつくってたべま  
した。いえてたべるよりおいし  
かったです。よるに、ほしがた  
くさんみえました。



が	い	ま	カ	っ	
た	し	し	レ	て	家
く	か	た	ー	、	ぞ
さ	っ	。	ラ	キ	く
ん	た	家	イ	ヤ	み
見	で	で	ス	ン	ん
え	す	食	を	プ	な
ま	。	べ	作	を	で
し	夜	る	っ	し	大
た	に	よ	て	ま	山
。	、	り	食	し	に
	星	お	べ	た。	行

☆ **書き** おわったら、**声**を **出**して **読**んで **み**ましよう。かん字や **かたかな**を **つ**かうと **読**みやすく **な**りますね。

いえの人のしるし↓



☆ トリピーが 日きを 書きました。でも、かん字を ひとつも つかって いないので、読みにくい  
 です。 **かたかな**や **なら**った **かん字**を つかって、下の **ます**に **書き直**しましょう。



あさ、とりのなきごえでめ  
 がさめました。まどのそとをみ  
 ると、よくはれていました。て  
 んきがいいので、ともだちをさ  
 そって、こうえんでさっかあを  
 することにしました。



を	さ	天	と	め	
す	そ	気	、	ま	朝
る	っ	が	よ	し	、
こ	て	い	く	た	鳥
と	、	い	晴	。	の
に	公	の	れ	ま	鳴
し	園	で	て	ど	き
ま	で	、	い	の	声
し	サ	友	ま	外	で
た	ツ	だ	し	を	目
。	カ	ち	た	見	が
	ー	を	。	る	さ

☆ 書き おわったら、声を出して 読んで みましょう。かん字や  
 かたかなを つかうと 読みやすくなり ますね。

いえの人のしるし ↓



かん字をつかって書こう 4 学習日 月 日( )

☆ トリピーが 日きを 書きました。でも、かん字を ひとつも つかって いないので、読みにくい  
 です。 **かたかな**や **なら**った **かん字**を つかって、下の **ます**に **書き直**しましょう。



らいしゅうからなつやすみ  
 になるので、たのしみです。  
 うみにいって、ふねにのりた  
 いです。まいあさ、らじおた  
 いそうにいくことを、おかあ  
 さんとやくそくしました。



し	と	朝	て	で	
ま	を	、	、	、	来
し	、	ラ	船	楽	週
た	お	ジ	に	し	か
。	母	オ	の	み	ら
	さ	体	り	で	夏
	ん	そ	た	す	休
	と	う	い	。	み
	や	に	で	海	に
	く	行	す	に	な
	そ	く	。	行	る
	く	こ	毎	っ	の

☆ 書き おわったら、声を出して 読んで みましょう。かん字や  
 かたかなを つかうと 読みやすくなり ますね。

いえの人のしるし ↓

